滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 自由民主クラブ 代表者名 鍵本 桂

政務活動 (調査研究・研修・要請陳情等) 実施報告書 滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務 活動 (調査研究・研修・要請陳情等) を実施したので、報告します。

記

- 1 期日 令和6年1月31日(水) から 令和6年2月1日(木) まで
- 2 活動場所
 - ① 東京都 衆参議院議員会館内
 - ② 防災体験学習施設【そなエリア東京】
- 3 参加者鍵本 桂、稲荷場 裕、村木 香織、安部 理絵
- 4 活動内容別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:自由民主クラブ

調査項目名称	調査王体: 百田氏王グノブ 調査研究(視察含む) ・ 研修 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	 ●市民の声【障がい者福祉施策について】を国へ要望し、現状低い補助率の引き上げを目的とし、ハンディをもった市民が住みよい街になるよう活動するための要望活動。 ●全国各地で地震や風水害の大規模災害が発生し、防災時の対応や対策を学び、市民が安全に暮らせる街づくりをするための体験研修活動。
活動概要	 ●実施日 1月31日(水)から令和6年2月1日(木) ●場所 東京都 衆参議院議員会館 東京都 そなエリア東京 ●内容 会派として、本市に必要な施策等の要望を国や関係省庁へ提出し、担当省庁と事業制度等について意見交換を行うことで、国等からの提案や助言等を当局側へ提供し、より有効的な施策展開へつなげる。 研修活動として、防災体験施設で防災体験を行い、今後の本市における災害対策施策を検討する一助とする。
活動成果	会派として市民の要望を国へ届け、今後、国からの補助事業における有効活用案などについて意見交換を行った。また、要望内容の制度について担当省庁と確認できたことで、補助制度をより効果的に活用する方法を確認することができ、当局側へ情報提供を行うこともできた。今後も会派として、市民が住みよい街になるよう要望などを国や県に届け、本市へ還元できるよう努める。防災体験学習施設「そなエリア東京」で学んだことは、直下型地震が発生した場合、国や自治体などの支援体制が十分に整うまでには、自力で生き残らなければならず、その目安は3日間、72時間と言われている。地震の発災から避難までを体験し、現状滝沢市での備えが不足していることに気づいたため、今後の本市における防災対策に役立てる。

会 派 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和6年1月31日 (水)	$9:50\sim12:08$ $12:23\sim12:25$ $13:00\sim15:00$ $15:30\sim16:00$	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ14号) 東京駅⇒有楽町駅 (JR 山手線外回り) 【要望行動】障がい者福祉施策について 参議院議員会館 ・越智 俊之議員 ・広瀬 めぐみ議員 衆議院議員会館 ・藤原 崇議員 ・鈴木 俊一議員 【要望内容の意見交換】 ・厚生労働省 照井 直樹室長補佐 【宿泊】 東急ステイ新橋 (東京都港区新橋4丁目23番1号)
令和6年2月1日 (木)	$9:00\sim11:00$ $11:20\sim12:03$ $12:20\sim14:32$	【防災体験会】 防災体験学習施設【そなエリア東京】 (東京都江東区有明3丁目8番35号) ・直下型地震発生から72時間、どう生きるか? ・防災体験学習ツアー 有明駅→東京駅(JR上野東京ライン線) 東京駅→盛岡駅(JR新幹線はやぶさ23号)